

福田寺だより

発行

飯田山 福田寺

住職 橋本尚信

 神奈川県小田原市飯田岡二五七
 電話 0465(36)2755

再び宗教とは何か

昨年七月に起きた安倍元首相殺害事件は、その後山上被告の殺害動機が「世界平和統一家庭連合」旧統一教会に恨みを募らせた末の事件であると供述したことから、宗教団体に係わる事件へと発展していきました。旧統一教会による多額の献金問題、家庭崩壊による二世信者の苦悩などが浮き彫りにされ、現在同宗教団体への解散命令請求が出され、結果がまたれている状況です。宗教法人に係わる問題は、憲法上の信仰の自由に抵触するか否かの微妙な問題を問われる事も多く、かなり慎重に捜査も進められ、相当な時間をかけて審議され、請求に至ったと思われず。間違いなく解散命令が出されるものと思えますが、その時私たちが

は宗教というものをどの様にとらえ、どう向き合ったら良いのか、問われる事になるのではないのでしょうか。

解散命令が出されるとはどういうことなのか、それは「世界平和統一家庭連合」は宗教ではなかったという事です。単なる金銭搾取集団であつたということではななぜ多くの人々が、その様な非合法な営利集団に吸い寄せられていったのか。その宗教に対する無知から日本人は宗教に対してあまりにも免疫性がありません。伝統的に盲目的信仰が讃美されてきたからでしょうか。そう思うと、既成佛教教団の僧侶である私たちの責任でもあるかも知れません。平成27年の福田寺だより第38号で「宗教とは何か」という文章を掲載

しましたが、旧統一教会の解散命令事件は、再び宗教とは何かと問い直されているように感じます。宗教の免疫性を持つということは、常に宗教に係わる環境が整っているかどうかということかと思えます。物理的には全国の宗教施設である寺院を考えた時、その数はコンビニよりはるかに多いことが統計上示されています。寺院が宗教的環境の役割を果たしてあれば十分に満たされているはずですが。しかしそうなっていないという事は寺院が宗教の役割を果たしていないということでもあります。多くの日本人は寺院を先祖供養の場と捉えています。寺院側も檀信徒に対して、葬儀・法事を提供してればよしとするか、否そうでないとしても、何をしたらよいのか分からない住職が多いことと思えます。

話を元に戻しましょう。人々がどうして旧統一教会という金銭搾取集団に吸い寄せられていったのか。そこには、自分の悩みを解決してくれる。また欲求を満たしてくれる、と信じて吸い寄せられていったと思

われます。確かに宗教は人々に幸せを与えてくれるものです。本当の宗教と偽物の宗教を見分けるにはどうしたらよいか、それは金銭を要求するか否かで見極められます。旧統一教会の場合、出来るだけ多くの金額を献金すればするほど、見返りの幸せが多く得られるという巧妙な手法で人々を誘惑して騙しているのです。前の38号の寺だよりで、宗教とは何かという問いかけに対し、仏教の究極的教えである弘法大師空海和上の教えを得ることが本当の宗教を得ることであると結論付けたと思いま

後期高齢者になって思うこと

住職は令和5年6月の誕生日を迎えて七十五歳となり、後期高齢者の仲間入りを致しました。後期高齢者となって先ず思うことは、高齢者の気持、心情が良くわかるということです。人は自分より高齢の人の気持ちはなかなか分からないものです。その年になってはじ

す。弘法大師の究極の教えは「如実知自身」、自分の身体・言葉・心が如来(佛)の身体・言葉・心と同じであると覚えることにあります。

私達が幸せを感じる「我れ佛なり」という境地を覚えることが最重要であることを示しているものであります。このことが人々の悩みの解消や欲求を満足させてくれることと、どのように結びつくのか、ということについては更なる講説が必要かと思えます。

「如実知自身」を含めて別の機会にお話しできればと思っています。

めて分かるものです。二十代、三十代の人に六十代七十代の人の気持ちに分かれという方が無理というものです。年齢的感性はその年を体験してはじめて理解出来るものと思います。勿論人は年齢に限らず他者の心情を理解すること等出来ません。ただ年齢に伴って生

じる共通の気持ちは良く分かる気がします。例えば足腰の痛み等身体的衰えから生ずるもの、車の運転など反射神経の衰えから生ずるもの、理想の追求や好奇心の探求といった気力の衰えから生ずるもの等など、自分が高齢となって体験することにより、誠に良く高齢者の気持が分かるというものです。

更に後期高齢者となって思うことは、七十五年の今までの人生をよく振り返るといふことです。今まで過去を振り返るのは、現在起きている出来事が過去の出来事と係わっているときなどに限られていたのですが、最近は特に事が起きていなくても、何とはなしに過去を振り返る事がよくあるのであります。その原因は、これから先の人生に対する欲求の減少に伴う個人的な問題からくるものなのか、団塊世代として過去の時代の郷愁からくるものなのか分かりません。確かに団塊世代が歩んできた時代は、様々な面で特異な、ユニーク

な、変化にとんだ時代であったように思います。今、若い人たちの間で昭和の頃を懐かしむことももてはやされているのもその一例と思えます。何れにしろ過去の人生を振り返る事が多くあります。

さて、周囲に居る同年代の人を見たとき、非常に元気な人が多いように感じます。絶対的人数が多かったから元気な人が大勢居るのは当然といえば当然ですが、一度年齢別による元気な人の割合を調べたら、納得の結果がえられるかも知れませんね。

因みに高校の同窓生名簿から、同学年の人の死亡率を計算したら12%の人が逝去していました。多いのでしょうか、少ないのでしょうか。

後期高齢者に仲間入りした一人として、過去を振り返りつつ、未来の人生をより充実したものにしていけるよう一日一日を精進して過ごしたいものです。



写経再開のお知らせ

令和二年にスタートした「写経会」が新型コロナウイルス感染症予防のため数回で中止となっていた写経を再開致しました。

写経の功德は「お経」を書写するところにあります。「お経」は仏様の教えが説かれているので、読み書きすることによりお経の功德が自然に染み込んでくると言われます。無心に読み書きすることが大切であることの由縁です。上手に書く必要もありませんし意味が分からなくても良いのです。ただひたすら無心で写経することが大切です。精神統一することにより身心の安定を保つこともできます。

*

- 毎月二十一日、午後二時からです。
- 道具は全て揃えてありますので、手ぶらでお気軽にご参加ください。

◆お願い◆

令和二、四年は、新型コロナウイルス感染症の影響でご参詣の制限もあり、檀信徒の皆様には諸々ご不自由をおかけ致しました。特に維持管理費の納入につきましては、お気を煩わせました。未納の方は暮れのお参り時にご持参下さい。



駐車場について

駐車場整備により駐車スペースは多くなりましたが、施餓鬼や盆の合同供養、護摩の際などは身体の不自由な方にご配慮頂きますようお願い申し上げます。またその際は詰め込み駐車になりますこと、ご理解下さい。

護摩供養会



(申込み受付中)

恒例の新年厄除け護摩を二月八日の午後三時より修行致します。令和五年度と同様に感染対策をした上でご参加頂ける形での実施を予定致しておりますので、どうぞ多くの方のお申込みをお待ちしております。

祈祷料：……三千元

祈祷内容：厄難消除(厄除け)、

- 身体健全、病魔退散、家内安全、
- 交通安全、商売繁盛、業運繁栄、
- 学業成就、合格祈願、安産祈願、
- 子授け祈願、その他：……

申込み：一月末日まで、電話可

電話 0465(36) 2755
 FAX 0465(37) 6688

令和五年度厄年

男性(大厄)

前厄 昭和五十九年生まれ

本厄 昭和五十八年生まれ

後厄 昭和五十七年生まれ

(厄) 平成十二年 生まれ

昭和三十九年 生まれ

女性(大厄)

前厄 平成五年生まれ

本厄 平成四年生まれ

後厄 平成三年生まれ

(厄) 平成十八年 生まれ

昭和六十二年 生まれ

仏教相談

誰でも気軽にどうぞ

勿論檀家さん以外の方でも仏事に関して、どうしたらよいのか? どんな些細なことでもご相談下さい。

電話 0465(36)2755

住職携帯 09030450064

元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より1時まで、住職により新年のご祈祷が修法されます。ご自由に参加ください。

暮れのお参り



通常通りお参り下さい。但し出来るだけ密を避けるため日にちに余裕をもってお参り下さい。

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めて下さい。特に大きなものや、燃えないものは連絡ください。

年回のお知らせ

来年度の年忌(年回)法要の張り紙を本堂に掲げておきますので暮れのお参りのときに自分の家の年忌を確認して下さい。

年忌に相当している場合、法要の日取りを早めに連絡して下さい。